

No.41 号

社教連会報

発行 社団法人 全国社会教育委員連合

〒100 東京都千代田区霞が関3-2-3

国立教育会館内 Tel 03-3580-0608

生涯学習行政の当面の課題

文部省生涯学習局長

長谷川 正 明

今日の青少年を取巻く現状を見ると、ゆとりの乏しい生活実態や実体験機会の不足が指摘され、また、家庭や地域社会の現状については、核家族化・少子化の進行、地域の連帯感の希薄化などから、それらの教育力の低下が指摘されている。また、いじめ、薬物乱用、性の逸脱行為など青少年をめぐる様々な憂慮すべき問題も生じている。これからの我が国は、個性と創造力にあふれ、責任感と思いやりをもつ子どもたちや、自分の夢や目標のために努力すると同時に、国際社会の一員としての自覚をもって国や社会の将来に積極的にかかわっていく子どもたちが育つように、家庭、学校、地域社会が手を携えてのびのびと「生きる力」を育む教育に取り組んでいくことが必要である。

現在、政府においては、いわゆる「六大改革」の不可分一体のものとして教育改革を推進しており、先般、その具体的な課題やスケジュールをまとめた「教育改革プログラム」の改訂を行った。このプログラムでは、中央教育

審議会の答申を踏まえ、中高一貫教育制度の導入、稀有な才能を有する者に対する大学の入学年齢制限の緩和などの学校教育改革のほか、生涯学習の理念に立って、家庭や地域社会の教育機能の充実、家庭・地域社会と学校との適切な連携・協力の推進を進めることとしている。来るべき二十一世紀を担う子どもたちが夢や目標を抱き、未来に向けてチャレンジしていけるように、生涯学習審議会に対し、「青少年の生きる力をはぐくむ地域社会の環境の充実方策について」検討をお願いするとともに、家庭や地域社会全体で子どもと話し合う機会を充実し、心豊かな子どもたちを育むため、「子どもと話し合う全国キャンペーン」を実施している。今後とも、家庭教育の振興、青少年の学校外活動の充実など、青少年の「生きる力」を育む環境を充実するための取組を、一層推進していきたい。

他方、社会教育行政も大きな転換期を迎えている。戦後まもなく、社会教育法などをはじめとする関係法令が制定されて以来、人々の学校外の学習活動の基盤である公民館、図書館等の社会教育施設の充実や社会教育指導体制の整備など、社会教育行政が果たしてきた役割は非常に大きなものである。しかしながら、制度発足以来五十年近くを迎えようとしている中で、例えば、公民館、図書館の運営等に関する必置規制の見直し等が地方分権の観点から要請されるなど、社会教育を巡る状況も大きく変化してきている。こうした状況を踏まえ、去る六月に生涯学習審議会に対して「社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」諮問を行ったところであり、平成九年度中を目標に結論を得ることとしている。

このような課題に適切に対応するためには、国はもとより、地域における行政を含め社会教育に携わる人々が協力し取り組んでいくことが必要である。社会教育委員は社会教育の振興計画の立案や市町村の青少年教育の実践指導において大きな役割を担うものであり、社会教育委員連合をはじめ、関係各位の御理解と御支援を切にお願いする次第である。



第39回全国社会教育研究大会をめざして

自然の懐に抱かれ夢想と憧憬と探求心溢れるまちに、全国の社会教育関係者が集い第39回全国社会教育研究大会が開催されます。「参加なされる皆様を温かくお迎えしよう」を合い言葉にして、釧路市の大会実行委員会を中心とした取り組みが、総力を挙げて着々と進められています。

以下、大会開催要項を要約します。

◆研究主題
『共に高め合う地域社会の創造をめざす社会教育を考える』

◆期日・会場
十月一日(水)～三日(金) 三日間
釧路市観光国際交流センターほか

◆大会日程
【第一日】開会行事 13時～14時
・主催者挨拶 ・表彰式典
・祝辞 文部大臣 北海道知事
・歓迎の言葉 釧路市長
シンポジウム 14時～15時30分
「テーマ」 「豊かな心を育む社会教育を考える」

【司会者】
北海道教育大学教授 末岡一伯
〔シンポジスト〕
札幌市美園小児科産婦人科 堀野清孝
厚田村教育委員会教育長 河地良一
札幌女子短期大学助教授 能登洋子

【第二日】部会別研究討議 10時～15時 (特別部会と九部会で構成)

【第三日】記念講演 10時～11時30分
◎演題 「陶房雑話」
◎講師 薩摩焼き陶芸家 第14代 沈 壽 官

閉会行事 11時30分～12時
◆部会名・研究主題・討議の視点

▽特別部会 「生死を考える」
◎真に人間らしい「生きざま」「死にざま」を考える
※特別部会鼎談者
日本放送作家協会北海道支部 事務局長 合田一道
北海道医療大学看護福祉部 助教授 阿部一男
北海道社会教育委員連絡協議会 会長 新谷淳治

◎家庭の役割と家庭教育のあり方について考える
◎家庭の役割と家庭教育のあり方について考える

◎働く親、特に父親の家庭教育への参加や子育てグループの組織化をどのように促進するか
◎家庭教育に関する情報提供や相談体制をどのように充実するか

◎休日の拡大に対応した学校外活動について考える
◎生きる力を育む学校外活動の充実

◎社会の変化に適切に対応するための学習機会の充実について考える
◎高齢化や男女共同参画などの現代的課題に対応した学習機会をどのように拡充するか

◎高度化・専門化する学習ニーズに対応した学習機会を提供するため高等教育機関等との連携をどのように図るか
◎様々な学習活動を支援する社会教育施設の運営について考える

◎生涯学習関連施設相互のネットワーク化をどのように進めるか
◎多様化・高度化する学習ニーズに応える学習活動をどのように進めるか

◎人権を尊重し、住みよい社会をつくるための社会教育活動のあり方について考える
◎人権尊重と差別廃止の啓発活動をどのように進めるか

◎地域の学習資源を生かした社会教育活動をどのように進めるか
◎国際的な視野を広げ、相互理解を深める交流活動のあり方について考える

◎国際理解を進める学習活動をどのように充実するか
◎地域での国際交流をどのように進めるか

◎国際理解を進める学習活動をどのように充実するか
◎地域での国際交流をどのように進めるか

◎国際理解を進める学習活動をどのように充実するか
◎地域での国際交流をどのように進めるか

庭・学校・地域社会でどのように進めるか
◎地域の特性を生かし、生き生きと学べる地域づくりについて考える

◎地方分権の時代を迎え、住民の主體的な参加を促し、地域の連帯意識を高める社会教育活動をどのように進めるか

◎地域の学習資源を生かした社会教育活動をどのように進めるか

◎国際的な視野を広げ、相互理解を深める交流活動のあり方について考える

◎国際理解を進める学習活動をどのように充実するか

◎地域での国際交流をどのように進めるか

◎文化活動の振興
◎地域の文化を見つめ、住民が主体的に取り組める文化活動について考える

◎住民の主體的な文化活動をどのように支援するか

◎伝統文化や文化財をどのように継承し保存するか

◎スポーツ活動の振興
◎全ての世代が参加できる生涯スポーツの振興について考える

◎地域ぐるみの生涯スポーツをどのように充実するか

◎指導者の養成とプログラムの開発をどのように進めるか

地区研究大会の紹介

平成9年度全国大会は前頁のとおり北海道釧路市におきまして着々と準備が進められています。

一方各地区(ブロック)別の社会教育研究大会も、それぞれの開催県において開催準備が進められているところ、開催が終了したところを含め、本年度の地区別研究大会の開催県担当者会議で発表された各地区の開催要項にもとづき、期日、会場、研究主題、分科会構成、記念講演など決定している内容を要約して紹介します。

東北地区研究大会―宮城県

期日 9月17日(水)～18日(木)

会場 仙台市 仙台国際センター

研究主題 「生涯学習社会における社会教育の具体的戦略を探る」

分科会構成

- 第一分科会 生涯学習まちづくり
 - 第二分科会 社会教育行政
 - 第三分科会 家庭・地域社会の教育力
 - 第四分科会 地域文化活動の振興
 - 第五分科会 生涯スポーツの振興
- 記念講演「過剰情報化社会と人間の身体」

作家 辺見 庸

関東甲信越静地区研究大会―静岡県

期日 9月17日(水)～18日(木)

会場 熱海市 熱海ニューフジヤホテル

研究主題 「豊かな人生を創出する社会教育・社会教育委員の役割」

分科会構成

- 第一分科会 社会教育の推進
 - 第二分科会 地球理解・国際交流
 - 第三分科会 未来を拓く 文化の創造
 - 第四分科会 家庭教育・青少年教育
 - 第五分科会 生涯スポーツ・クリエーション
 - 第六分科会 男女参画社会の形成促進
- 基調講演「少子・高齢社会と社会教育委員の視点」

焼津市教育長 宮澤 宏

作家 杉本 苑子

東北陸地区研究大会―三重県

期日 10月30日(水)～31日(金)

会場 三重県総合文化センター

研究主題 「これからの生涯学習社会における社会教育の在り方を考える」

分科会構成

- 第一分科会 家庭教育
- 第二分科会 高齢者の社会参加
- 第三分科会 人権教育
- 第四分科会 青少年教育
- 第五分科会 生涯スポーツ
- 第六分科会 ボランティア活動
- 第七分科会 生涯学習まちづくり

作家 菅 まどか

近畿地区研究大会―奈良県

期日 8月19日(火)～20日(水)

会場 奈良県文化会館

研究主題 「生涯学習社会における社会教育の今日的役割」

分科会構成

- 第一分科会 生涯学習推進体制
 - 第二分科会 青少年・家庭教育
 - 第三分科会 高齢者教育
 - 第四分科会 同和教育
 - 第五分科会 ボランティア活動
- 記念講演「文化財の形に学ぶ」

浄瑠璃寺住職 佐伯 快勝

中国・四国地区研究大会―山口県

期日 8月7日(水)～8日(金)

会場 山口県教育会館

研究主題 「生涯学習社会の実現をめざした社会教育活動のあり方」

分科会構成

- 第一分科会 青少年教育 地域教育
 - 第二分科会 成人教育 家庭教育
 - 第三分科会 社会体育 地域づくり
 - 第四分科会 同和教育 人権教育
- 記念講演「毛利元就一族の生き方」

作家 浜野 卓也

シンポジウム「生涯学習社会の実現をめざした社会教育活動のあり方」

九州地区研究大会―熊本県

期日 10月30日(水)～31日(金)

会場 熊本市民会館

研究主題 「一人一人が輝く社会教育」

分科会構成

- 第一分科会 社会教育委員の役割
 - 第二分科会 青少年の体験活動の推進
 - 第三分科会 高齢者の社会参加の推進
 - 第四分科会 環境教育の推進
 - 第五分科会 同和教育の推進
 - 第六分科会 社会教育関係団体の育成
- 記念講演「21世紀も青い地球で」

熊本県環境センター館長 藤木素士

「改訂・社会教育委員必携」(十月発行)

編集者 福留 強ほか

- 第I部 生涯学習と社会教育〔総論〕
- 第II部 生涯学習と社会教育行政
- 第III部 社会人を対象とした高等教育機関の学習機会提供
- 第IV部 学習成果を活かしたボランティア活動の支援・推進
- 第V部 学社融合と青少年の健全育成
- 第VI部 社会教育計画の立案の方法
- 第VII部 現代的課題と学習プログラム
- 第VIII部 生涯学習まちづくりの意義と方法

○本書の特色

- ・社会教育委員として、生涯学習の推進のために当面活動すべき分野について、簡潔にまとめられたものである。
- ・前号の部分とできるだけ重複しない内容を工夫してある。
- ・社会教育委員等の研修にあたっては、テキストとして活用できるように編集。

発行 全日本社会教育連合会

北 から 南 から

「茨城人 気質」

落合 勝雄

昨秋、茨城県で開催された第三十八回全国社会教育研究大会は、全国から二千名を超える社会教育委員及び関係者が集い、各位の深いご理解とご指導を頂きお陰をもって無事閉幕しました。この大会の研究討議では現代的な課題として「男女共同参画社会」が新たに設定され、人々の意識啓発を、また家庭や地域での男女共同参画社会をどのように進めていくか、大きな関心と熱気の中で真剣な討議が続けられた。政府の行政改革会議では、男女共同参画の扱について昨年十一月行革会議がスタート、七月の行革会議では首相の発言もあつて男女共同参画の位置づけをめぐり、十一月末の行革会議決定まで、なお論議を呼びそうだという。

本県八十五町村の社会教育委員は千三百余名であつて、それぞれの地域で研修、視察などの活動を積極的に実施し生涯学習の推進に努めている。

しかし県を挙げての事になるといまいちの感で、社教連基本金募金目標達成は低迷を続け迷惑を掛けています。が、昨年の全国大会の成功を契機に盛上りを見ました。この熱気を一過性のまま終るべきではないとの意見があ

り、県連絡協議会理事會において県中央研修會の開催が決定。七月茨社連定時總會に引続き、初の県中央研修會を開催、県内市町村の社会教育委員四百余名が出席。研修會は茨城大学鈴木映一教授を講師に演題「水戸藩の学問的伝統と徳川慶喜」の講演を拝聴した。

来年NHKテレビ大河ドラマに登場する徳川第十五代將軍徳川慶喜について知られざる人物像や、父徳川斉昭の唱導した水戸学の真髓を見事なまでに貫き通して明治維新に大きな役割を果した大丈夫の面影を偲ぶとともに認識を新たにした。来年のテレビ放映が期してまたれるところである。

茨城の人は、言葉荒く、気が短いと云われるが質実剛健、質素を旨とした「水戸武士」の氣風が浸透したところであり、優雅、質素、正義が茨城の県民性であろう。

今日のめざましい経済発展による豊かさとは、うらはらに惹起されている社会の歪、人間不信、環境破壊等を直視するにつけこのまま推移すれば生涯学習の在り方に苦悩すると思われる。欧州の先駆者が「生涯教育は経済と永遠の戦である」と唱破した言葉が聞えてきてならない。

生涯学習の新たな課題「ゆとり」の中で「生きる力」を育むことを目指し個性尊重を基本的な考え方とする一人ひとりの能力、適性に応じた教育の在り方に、培った実績と経験を生かし二十一世紀の明るい展望に期待を膨らま

し努力を傾注していくべきである。
(茨城県社会教育委員連絡協議会長)

「社会教育委員からの メッセージ」

近藤 恭弘

鍋島藩は理化学、工学を興し、今もその風は健在であるといわれています。蘭学を学ぶなら宇和島へ行け、といわれたように宇和島では蘭学が成熟し、津和野藩、蔭摩島津藩など、独自性のある教育を各藩が興してきました。あるいは、加賀のように独創的な工芸を奨励してきた所もあり、藩の方針とは別物でしょうが、南部藩の風土の中から文学者、とくに詩人を多数排出しているなども、興味深く見逃せない存在です。我が愛知県も例外でなく尾張や三河で個性的な教育が行われてきました。

このように、元来日本は地方毎に独自性があり、画一的では無く、大変興味深い国だったはずではないでしょうか。そうした日本の多様性を生かして、その土地の文化、風土に合った社会教育ができるものでしょうか。全国一斉に画一的な生涯教育をするのではなく、昨今地方分権が叫ばれているように、行政分野だけでなく、社会教育も「地方分学」で行きたいものです。

このようなことを目指すとすれば、まずそれぞれの地方の特色を知る必要があります。社会教育委員も県内地区毎に特色がありますので、まず委員自

身がおかれている環境を知る必要があります。

前置きが長くなりましたが、愛知県では今年社会教育委員調査(仮称)を進めています。社会教育に関する答申や建議、委員定数、任期、審議會(委員會)の開催方法、はては委員報酬の額など今回は主に基礎的な調査ですが、約1200名の社会教育委員を対象に七十項目に及ぶ調査です。

集計の方法は、委員の皆さんに参加意識を持って頂く願いもありますが、県社連は人手もありませんし、予算も微々たるものです。このために、まずそれぞれの市町村で集計をして頂き、それを担当の各地方教育事務所や中間集計し、最後に県社連で集計、分析という方法をとります。

この調査によって得られる数字は社会教育委員からの貴重なメッセージです。結果は平成十年をめどに発表する予定です。が、いづれインターネットなどでもご覧頂けるようにし、いつでも全国の委員の皆さんにご利用頂けるようにしたいと考えています。

出来れば全国社会教育委員連合で統一された設問で実施されることが望ましいのですが、愛知県から全国の皆さんにお願い致したいのは、このような調査を全国の県で実施して頂きたいことです。全国の資料がそろえばこの統計が更に生きて、何かを動かす大きな力になるものと確信しております。

(愛知県社会教育委員連絡協議会長)

「理想の人間像の大切さ」

富士 貴志夫

昔の小学校の教室には大抵、理想の人間の顔写真が掲げられていた。私の小学校では吉田松陰の写真が教室の右前方、黒板より高いところに掲げられていて授業中よく眺めた記憶がある。陰影の深い顔で、ちようどレンブラントの自画像のように右側と左側とが光と影となっていたのを今でも鮮明に思い出す。

今の小学校の教室でこのような偉人の写真を見かけたことがない。

教室に理想的な立派な仕事をなし遂げた人の顔写真がある方がよいのではないかと思う。例えばノーベル賞を受賞したような方の写真など国籍を問わず掲げておく方が子供たちにとって好影響を与えるに違いない。

世阿弥の「風姿花伝」(15世紀)によると、第1期は45歳まで、第2期は65歳まで、第3期は80歳までとなっている。

興味深いのは、第1期の45年間は義満の絶大な保護を受けたが、第2期の20年間は義持の疎外を受け、長男、次男の教育に尽力している。第3期の約65歳から80歳までの15年間は、義教によつて弾圧され71歳のときに佐渡に流され、晩年の様子は明らかでない。

有名なことばは「ただ、返す返す、初心を忘るべからず」であろう。さら

につぎのように書いておられるのは大切なことと思われる。

「過ぎし風体を忘れてはならない。若い時の未熟さを忘れない。初心よりの芸能の品々を忘れずして、その時々用々に従いて、取りいだすべし」。

「初心忘るべからず」の意味が現代の理解と相違しているようである。

なお、興味深いのは、「足を強く踏む時は、身をば静かに持つべし」と書いておられることであろう。

生涯学習の観点に立つて考えれば、まず、青少年教育においては、いろいろな体験をして、後年のための「頭出し」をしておくことではないかと思う。

最近のニュースで驚いたことの一つは、兎の育て方を知らない教師が生まれたばかりの赤ちゃんの兎を児童の目前で土の中へ埋めたという記事であった。小学生時代に兎を飼っていた私にとつて、たいへんなショックであった。

成人教育のレベルについては、いつまでも総論風の入門講座では魅力がないと思う。ワープロ、パソコンにチャレンジする8代のお年寄りも珍らしくない。仕事のためでなく、ハイテクに触れたかったというのがその理由である。これこそ自己教育の本質であろう。生きがいを高めるための学習として、仲間をもち、自分に適した役割を果し、目的意識を明確に持ち続けることである。

(徳島県社会教育委員連絡協議会長)

第1回アメリカ・カナダ社会教育視察団参加者募集

本会は昭和50年度より毎年社会教育委員、教育委員、社会教育行政職員、社会教育団体会費等のためにヨーロッパ諸国の社会教育事情の視察団を編成し、実施して参りました。今年度は各関係者からの米国における社会教育事情の研修の要望におこたえして、「米国社会教育視察団」の募集を開始致しますので、またとない機会に是非ご賛同頂きご参加をお勧め致します。

1. 目的 アメリカ・カナダの社会教育実施を見学して、その活動状況を視察する。さらに各国の著名な建造物、史跡、博物館・美術館を巡り教育文化を学ぶ。
2. 期間 平成9年11月11日(火)～11月23日(日)
東京→ニューヨーク(3泊)→カナダ・ナイアガラ(2泊)→デンバー(3泊)→ロスアンゼルス(3泊)→東京
3. 主要視察先 ◎ニューヨーク……コミュニティカレッジ・コミュニティスクール・国連本部・エンパイアステートビル
◎ナイアガラの滝
◎デンバー……コミュニティカレッジ・デンバー州立図書館
◎ロスアンゼルス…ボランティア団体活動・サンタモニカ海岸・リトルトキョウなど
4. 参加経費 490,000円(全朝食付、ベテラン添乗員が全行程ご案内致します。)
※社会教育委員の方には、本会から20,000円の助成金があります。
※全食事を加えた場合、約80,000円の追加経費でご手配致します。
5. 募集人員 15名(先着順、定員になり次第締切)
6. 募集締切 10月15日(水) 10月下旬旅行説明会開催予定
7. 応募方法 はがきで全国社会教育委員連合へお申し込み下さい。
なおご請求下されば詳細資料等をお送り致します。
8. 旅行事務 旅行に関する一切の業務は、明治航空サービス株式会社が担当します。
9. 連絡申込先 〒100 東京都千代田区霞ヶ関3-2-3 国立教育会館内
社)全国社会教育委員連合 TEL.03-3580-0608
FAX.03-3580-2869

広大な米国の中でも、東部、中部、西部の地域性も併せて研修できます。文化や美術をリードする米国をこの機会に是非ご参加お待ち申し上げます。

青少年を取巻く環境の充実方策と

今後の社会教育行政について(諮問)

文部大臣は第四期生涯学習審議会の総会に、次の二項目を諮問しました。

- 一 青少年の「生きる力」をはぐくむ地域社会の環境の充実方策について
- 二 社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について

平成九年六月十六日

(理由)

○諮問事項一について

今日、子どもたちをとりまく現状については、ゆとりのない生活、実体験の不足、家庭や地域社会の教育力の低下などが指摘される中で、いじめ、薬物乱用、性の逸脱行為など様々な憂慮すべき問題が生じている。このような状況の下、これからの変化の激しい社会の中で、地域社会の大人たちが手を携え、心豊かにたくましく生きることができる青少年をはぐくんでいく環境を醸成することが強く要請されている。

平成八年七月の中央教育審議会第一次答申においても、二十一世紀に向けて、子どもたちに「生きる力」をはぐくむことが重要であるとして、家庭や地域社会における教育の充実が提言されたところである。また、二〇〇三年度を目標とする完全学校週五日制の実施に向けての

第4期生涯学習審議会委員名簿

(敬称略)

| | |
|-------|-----------------------|
| 荒巻 禎一 | 京都府知事 |
| 飯田 宗映 | 富山県教育委員会教育長 |
| 石塚 貢 | 科学技術会議議員 |
| 井内慶次郎 | (財)放送大学教育振興会会長 |
| 生内 玲子 | 評論家 |
| 大野 重男 | (社)中央青少年団体連絡協議会会長 |
| 大森 厚 | 学校法人中央工学校理事長 |
| 岡野俊一郎 | 国際オリンピック委員会委員 |
| 奥島 孝康 | 早稲田大学総長 |
| 川村 皓章 | (財)日本レクリエーション協会副会長 |
| 木村 孟 | 東京工業大学長 |
| 坂口美代子 | 坂口電熱(株)代表取締役社長 |
| 塩谷 稔 | 日本電子総合サービス(株)取締役社長 |
| 杉山 富栄 | (社)日本PTA全国協議会評議員 |
| 中村 紘子 | ピアニスト |
| 南雲 光男 | 日本商業労働組合連合会会長 |
| 浜口 義暁 | 日本中央競馬会理事長 |
| 原 ひろ子 | お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授 |
| 福川 伸次 | (株)電通総研代表取締役社長兼研究所所長 |
| 邊見 正和 | (財)日本海洋レジャー安全・振興協会理事長 |
| 松下 直子 | 全国地域婦人団体連絡協議会事務局長 |
| 矢澤富太郎 | 太田昭和監査法人会長 |
| 山谷えり子 | サンケイリビング新聞編集長 |
| 山本 恒夫 | 筑波大学教授 |
| 吉川 弘之 | 前東京大学長 |
| 若林 之矩 | 労働福祉事業団理事長 |
| 渡辺 弘 | 東京都台東区立上野中学校長 |

取組みが進められることを踏まえ、地域社会における多様な学習プログラムの提供や、学校・家庭・地域社会の連携を支援する体制を整備していくことも重要な課題となっている。以上を踏まえ、今後の子どもたちの家庭での生活や地域社会での活動の在り方と、「生きる力」をはぐくむ地域社会の環境充実のための具体的方策を検討する必要がある。

このような状況を踏まえ、社会教育関係法令の見直しを含め、地方公共団体の自主性を一層生かした今後の社会教育行政の在り方について検討する必要がある。また、これに関連し、社会の変化に対応した社会教育の推進のための具体的方策について検討する必要がある。

一 第一小委員会では、諮問事項一「青少年の「生きる力」をはぐくむ地域社会の環境の充実方策について」を審議することとし、適宜各方面からヒヤリングなどを実施し、論点を整理する。

○諮問事項二について
社会教育行政は、戦後間もなく行われた社会教育法等の関係法令の整備以来、公民館、図書館等の社会教育施設の充実をはじめ着実に進展してきたところであるが、制度発足以来、五十年近くを迎えようとしている今日、社会の変化に伴う行政ニ

二 第二小委員会では、第三期審議会からの継続審議事項である「生涯学習の成果を生かすための方策について」を審議することとし、適宜各方面からヒヤリングなどを実施し、論点を整理する。

平成9年度社教連会長表彰者決定

第39回全国社会教育研究大会（北海道大会）の席上で、左記の69名の方が社教連会長より表彰を受けられます。

社教連会長表彰者一覧（敬称略）

Table with 3 columns: Prefecture (e.g., 北海道, 宮城県), Name (e.g., 吉野 繁信), and Address (e.g., 士別市).

Table with 3 columns: Prefecture (e.g., 石川県, 山梨県), Name (e.g., 中西 清香), and Address (e.g., 石川市).

八頁へ続く

第23回 ヨーロッパ社会教育視察団参加者募集

本会は昭和50年度より毎年社会教育委員、教育委員、社会教育行政職員、社会教育団体会員等のためにヨーロッパ諸国の社会教育事情の視察団を編成し、実施して参りました。本年も下記の内容で第23回ヨーロッパ社会教育視察団の団員募集を開始致しますので、またとない機会に是非ご賛同頂きご参加をお勧め致します。

- 1. 目的: ヨーロッパ各地の社会教育施設を見学して、その活動状況を視察する。
2. 期間: 平成9年10月27日(月)～11月8日(土)
4. 主要視察先: ボン、早稲田大学ヨーロッパセンター、ドイツ国民大学協会、ボン大学、市庁舎、ペートベン生家
5. 参加経費: 498,000円 (全朝食付、ベテラン添乗員が全行程ご案内致します)
6. 募集人員: 25名 (先着順、定員になり次第締切)
7. 募集締切: 10月3日(金) 10月上旬旅行説明会開催
8. 応募方法: はがきで全国社会教育委員連合へお申し込み下さい。
9. 旅行業務: 旅行に関する一切の業務は、近畿日本ツーリスト(株)虎ノ門海外旅行事業部が担当します。
10. 連絡申込先: 〒100 東京都千代田区霞ヶ関3-2-3 国立教育会館内

ライン河、ロマンチック街道
北イタリアの大型バスでのドライブとTGV列車の旅

事務局だより

◆平成9年度第1回総会終る

平成9年度第1回理事会・総会を開催、平成8年度事業報告、収支決算報告、平成9年度事業計画(案) 予算(案)等について審議が行われました。

開催日時 平成9年5月15日(木)

開催場所 ホテルフロラシオン青島
理事会 10時30分〜12時
総会 13時〜14時30分

総会は定刻に司会者より開会を宣し本総会は定款第26条により定足数(正会員数60名中出席者60名)を満たし成立する旨を告げ、まず鈴木勲会長の挨拶、小杉山清専務理事より経過報告を行い、次に議長に鎌水速太福岡県会長を選出し、議事録署名人として鈴木完一福島県会長、星野幸久長野県会長が指名され議事の審議に入りました。

第1号議案 平成8年度事業報告ならびに収支決算の承認について

石浦事務局次長より総会資料に基づき事業報告を、田辺事務局次長より決算報告を行い、いずれも承認されました。

秋山一夫監事より「会計検査を行ったところ、適正に収支されたことを認める」報告があり、異議なく承認されました。

第2号議案 平成9年度事業計画(案)、収支予算(案)について

石浦事務局次長と田辺事務局次長が

提案し、いずれも原案どおり承認、可決されました。

第3号議案、第39回全国社会教育研究大会開催案について

新谷淳治北海道会長より開催要項案に基づいて詳細な説明がなされ、各県への協力が要請され承認されました。

第4号議案 第40回(平成10年度)全国社会教育研究大会開催案について

辻欣一岐阜県会長より、岐阜県岐阜市(平成10年10月21日〜23日)において開催の意志表示があり、満場一致で承認、可決されました。

第5号議案 役員改選について

任期満了に伴い、全員異議なく左記の役員(理事)を選出、可決しました。

会長 鈴木 勲 (敬称略)

副会長 新谷 淳治 北海道

副会長 辻 欣一 岐阜県

専務理事 小杉山 清 茨城県

理事 江馬 成也 宮城県

理事 佐藤 信一 山形県

理事 片居水清一 埼玉県

理事 塩澤 實蔵 静岡県

理事 井ノ口昭太郎 三重県

理事 上田亮太郎 京都府

理事 高橋 史郎 奈良県

監事 河村 太市 山口県

理事 安原 昇 香川県

理事 平野 敏也 熊本県

理事 高島 正信 宮崎県

理事 大塚 英子 千葉市

理事 落合 勝雄 茨城県

監事 秋山 一夫 栃木県

その他「基本金増強募金事業」について、次の意見が出されました。

鈴木完一福島県会長

「基本金増強募金事業は、昨年度で終了したのか。もう少し継続し、50%以下の団体がないようにしたらどうか」

これに対して、小杉山清専務理事より「事業としては、ある時期で終りた。しかし、達成率の低い団体からはまだ納入が続いている。未達成の団体はさらなる努力をお願いしたい」

塩澤實蔵静岡県会長

「社会教育委員が対象なので、自分に課せられたものは果すべきではないか」

秋山一夫栃木県会長

「目標額達成の団体には、感謝状は出しているのか」

これに対して、小杉山専務理事より「目標額達成の団体には出してほしい」旨回答。

以上をもって全ての議事を終了しました。

七頁より続き (敬称略)

長崎県 小川 清人 有家町

熊本県 高田 一郎 鹿本町

大分県 軸丸 勇 宇目町

宮崎県 梶井 恵子 延岡市

鹿児島県 南 ツギエ 鹿児島県

鹿児島県 大吉 一照 宇検村

沖縄県 盛山 重光 金武町

指定都市 右田 紀久恵 大阪市

指定都市 植田 高明 広島市

社教情報 37号 [A 5判64頁] 定価300円(税込) 190円 平成9年9月下旬発行予定

全国でご活躍の社会教育委員を結ぶ唯一の機関誌であります「社教情報」第37号を下記により発行いたします。全国各地の社会教育委員の交流と研修の糧として、ご購入下さいますようお願いいたします。

特集「地域の中の子ども一家庭・地域・学校の連携・協力」

- ◆論文 子どもはどう育つか 横浜国立大学教授 高橋 勝
- ◆論文 地域の子育て支援 文部省社会教育官 結城 光夫
- ◆論文 家庭における子育て論 元埼玉県立南教育センター所長 藤井 均
- ◆事例 東京都調布市立図書館、静岡県教育委員会、岡山県岡山市教育委員会、鹿児島県教育委員会
- ◆レポート 島腹桂子(福島県桑折町) 小藪昭朗(岐阜県大垣市) 松本 正(熊本県山江村) 三好富男(宮崎県新富町)

◆思考と提言 ◆随想
編集/社団法人 全国社会教育委員連合 発行/財団法人 全日本社会教育連合会